

2022年11月改訂（第4版）

貯法 室温保存、気密容器

動物用医薬品

経口用胆汁酸製剤

承認指令書番号	元動薬第959号
販売開始	2018年7月

ウルソデオキシコール酸10%「KS」

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、胆汁酸の一種であるウルソデオキシコール酸を有効成分とし、牛のケトーシス、肝機能減退症の治療に有効な製剤です。

【成分及び分量】

本品 1 g中

有効成分	含量
ウルソデオキシコール酸	100 mg

【効能又は効果】

牛：ケトーシス、肝機能減退症

【用法及び用量】

1 頭当たりウルソデオキシコール酸として、下記量を 1 日 1 回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
牛：2 ～ 3 g

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

（使用者に対する注意）

- ・飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・開封後、使い切らない場合は、湿気に注意し、なるべく密閉状態で保管すること。
- ・使用済みの容器は地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

（牛に関する注意）

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】

（薬物動態）

- ・ウルソデオキシコール酸 6 mg/kg を 2 ヶ月齢のホルスタイン子牛に単回経口投与した場合、最大血中濃度到達時間 (t_{max}) は 6.9 時間、最大血中濃度 (C_{max}) は 2.5 μ g/mL、血中濃度-時間曲線下面積 (AUC_{72}) は 48.8 μ g・hr/mL であった。

（薬効薬理）

- ・ウルソデオキシコール酸は、利胆作用（肝胆汁流量及びビリルビン排泄量の増加）、肝血流量増加作用、脂肪吸収促進作用、胆石溶解・形成抑制作用、肝障害抑制作用（肝障害性の高い疎水性胆汁酸の置換及び炎症性細胞浸潤抑制）がある。また、動物実験により、血清コレステロール低下作用、リパーゼ活性の促進作用、膵液分泌促進作用、肝 HMG-CoA reductase 活性抑制及び cholesterol 7 α -hydroxylase 活性上昇作用が認められている。

【包装】

5 kg（1 kg × 5 分包）
約 12 g（すりきり）用サジ添付

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073
東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL:03-3264-7559

製造販売業者

 **共立製薬株式会社**
東京都千代田区九段南 1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。